

# 政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	1-1 豊かな自然を守り、はぐくむ
施策	1-1-2 やすらぎとにぎわいのある海辺の創出

指標NO	5
------	---

指標名	市内の海辺に魅力を感じる	単位	%
-----	--------------	----	---

担当局(区)	都市局
--------	-----

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	41.0	46.0	50.0	△
現状値	36.8	37.9	—	—	

目標設定の考え方	中央港地区の旅客船さん橋の整備や人工海浜を生かした取組みを推進することで、海辺に足を運ぶ機会を増やすことを目指し、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】	<p>魅力ある海辺空間を創出するため、その他事業の幕張海浜公園での「花火大会開催(幕張ビーチ花火フェスタ)」や、千葉ポートタワー・ポートパークでの「千葉市民産業まつり開催(千葉湊大漁まつり)」など、にぎわいを創出するイベントを開催してきた。また、計画事業「千葉中央港地区まちづくりの推進(旅客船の運航)」では、工場夜景クルーズや高速ジェット船クルーズなど、海上交通の運行実験を継続的に実施し、市民が海辺に訪れる機会を提供してきた。</p> <p>H26年末現状値は、これらの各種イベント等の成果によってH23末現状値より数値が向上しているが、計画事業「稲毛海浜公園の改修」や「千葉中央港地区まちづくりの推進(旅客船さん橋の整備)」などのハード整備については、26年度末時点で「実施設計」や「工事」の段階であり、現段階では海辺の魅力向上に十分つながらなかったと考えられる。</p>
【課題及び今後の取組みの方向性】	<p>これまで実施してきた海辺のにぎわいを創出している花火大会や千葉ポートタワー・ポートパーク、3つの海浜公園エリアなどでの各種イベントについては、今後も市民に積極的に周知し開催していく。</p> <p>また、第2次実施計画事業「稲毛海浜公園の再整備」の取組みを着実に進めるとともに、「千葉中央港地区まちづくりの推進」の取組みとして、本市の新たな海の玄関口として市民のにぎわいや憩いのある親水空間を提供するため、平成28年4月に供用開始した旅客船さん橋や港湾緑地、ターミナル等を活用し、周辺施設と連携したイベントの開催や旅客船の運航などを実施していくことで、市民への海辺のイメージ向上を図る。</p> <p>さらに、稲毛～幕張海浜エリアを魅力的で活気あふれるエリアとするため、平成28年3月に策定した「海辺のグランドデザイン」に基づき、民間活力を積極的に導入し、地域による活性化の取組みを促進して海辺の新たな魅力づくりを進めていく。</p>

## 指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	稲毛海浜公園の改修	ヨットハーバーの浚渫	—	測量・実施設計	実施設計	実施設計	達成	5,756
2	稲毛海浜公園の改修	検見川の浜活性化施設整備	—	調査	調査	調査	達成	
3	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船さん橋の整備	港湾施設基礎工事	旅客船さん橋整備	旅客船さん橋整備	旅客船さん橋整備	達成	476,554
4	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船の運航	9日間(23年度事業量)	6日間/年	6日間/年	7日間/年	達成	

## その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	花火大会開催	幕張ビーチ花火フェスタ(来場者数)	—	30万人	30万人	30万人	達成	48,000
2	千葉ポートタワー管理運営	管理運営(入場者数)	114,000人	84,000人増	198,000人	129,492人	未達成	210,000
3	稲毛海浜公園管理運営	管理運営	実施	実施	実施	実施	達成	0
4	千葉市民産業まつり開催	千葉湊大漁まつり(来場者数)	—	5万人	5万人	6万人	達成	3,000

# 政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	5-1 都市の魅力を高める
施策	5-1-1 都心などの魅力向上

指標NO	147
------	-----

指標名	市内で食事や買物、レジャーを十分に楽しむことができる	単位	%
-----	----------------------------	----	---

担当局(区)	都市局
--------	-----

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	58.7	59.4	60.0	○
現状値	55.4	58.5	—	—	

目標設定の考え方	JR千葉駅周辺の大規模再開発を中心に、買い物やレジャーなどにぎわいのある空間創出を目指し、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】	<p>現在、JR千葉駅の駅舎・駅ビル建替え工事が行われていることから、千葉駅直結のペリエなどは一部店舗しか利用できず、利便性・快適性は低下したものの、駅至近に既存の大型商業施設が立地していることや、計画事業「千葉駅西口地区第二種市街地再開発」の取組みとして、昨年度、千葉駅西口に完成した再開発ビル(WESTRIO)などの効果により、千葉駅周辺における食事・買い物などの利便性等についての印象は、それほど低下しなかったと考えられる。</p> <p>一方、幕張新都心では、大型の民間商業施設が完成したことや、東日本大震災以後、その他事業「花火大会開催」の会場として幕張海浜公園が活用され、打ち上げ前から会場周辺で多彩なイベントを実施してきたことなどにより、「にぎわいのあるまち」としての印象が浸透しつつあると考えられる。</p> <p>また、海辺の活性化策の1つとして、「千葉中央港地区まちづくりの推進(旅客船の運航)」により、工場夜景クルーズや高速ジェット船クルーズ、前述の花火大会とのコラボ企画としてのディナークルーズなど、海上交通の運行実験を継続的に実施するなどした結果、市内で実施しているマリンレジャーの認知度も向上したと思われる。</p>
【課題及び今後の取組みの方向性】	<p>JR千葉駅の駅舎・駅ビル建替え工事は平成30年夏以降に完成し、より充実したエキナカ、駅ビルが利用可能となるほか、千葉駅西口では第2次実施計画事業「千葉駅西口地区第二種市街地再開発(B工区)」として、次なる再開発ビルの建築が予定されており、また、来街者に配慮した案内板の設置や、連絡通路・ペデストリアンデッキなどの整備により、千葉駅周辺の利便性・回遊性の向上が見込まれる。</p> <p>さらに、幕張新都心や千葉中央港地区などにおいて、にぎわいのある空間創出のための各種取組みを継続的に実施し、それらを効果的に発信することで、千葉市のイメージ向上に取り組んでいく。</p>

## 指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	A棟建築	杭基礎工事	工事	完成	完成	達成	1,937,448
2	JR千葉駅建替えの促進	JR・モノレール駅連絡通路	協議	実施設計、工事	工事	工事	未達成	80,224
3	JR千葉駅建替えの促進	JRや地元関係者との意見交換会	—	2回/年	2回	3回	達成	
4	幕張新都心拡大地区の整備促進	民間商業施設の整備促進	基盤整備	基盤整備 民間商業施設の建設・開業	民間商業施設開業	民間商業施設開業	達成	0
5	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船の運航	9日間(23年度事業量)	6日間/年	6日間	7日間	達成	703,949
6	千葉中央港地区まちづくりの推進	案内板の整備	—	3基	3基	3基	達成	

## その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	ホームタウン推進事業	転入者観戦招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカー教室	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312
2	花火大会開催	幕張ビーチ花火フェスタ(来場者数)	—	30万人/年	30万人	30万人	達成	48,000
3	観光情報センター運営	運営	2か所	2か所	2か所	2か所	達成	57,964
4	動物公園管理運営	管理運営(入園者数)	613,400人	平成23年度実績を3年間で2割増する	736,000人	575,215人	未達成	3,143,463
5	千葉市民産業まつり開催	千葉湊大漁まつり(来場者数)	—	5万人/年	5万人	6万人	達成	3,000

# 政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	5-1 都市の魅力を高める
施策	5-1-2 都市の国際性の向上

指標NO	148
------	-----

指標名	市の国際的なイメージが向上している	単位	%
-----	-------------------	----	---

担当局(区)	総務局
--------	-----

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	25.0	30.0	35.0	△
現状値	19.3	21.2	—	—	

目標設定の考え方	幕張メッセなど都市資源を生かした地域活性化や国際経済交流、姉妹・友好都市交流などを通じ、本市の認知度やイメージ向上をめざすこととし目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】	<p>指標は微増したものの、目標値には届かなかった。</p> <p>市民が「国際的なイメージの向上」を感じる場面は、在住外国人や外国人観光客の増加や、外資系企業の進出、国際的イベントの開催、またメディアへの露出など、多様であり、複合的な要因が作用していると考えられる。</p> <p>国際経済交流の推進としては、当初予定していた企業商談会は、企業側の要望がなく実現できなかったが、姉妹都市・モントルー市(スイス連邦)の物産展に市内企業と参加し、B(企業) to C(消費者)型のイベントで、地元住民に直接千葉市のPRを行った。海外進出企業向けセミナーは、相手国大使館側との調整で、26年度実施の予定が、ずれ込み27年度6月に実施した。</p>
【課題及び今後の取組みの方向性】	<p>市民に、「国際的なイメージの向上」を実感してもらうためには、まず、本市が様々な視点から取り組んでいることについて知ってもらうことが重要である。そのため、市政だよりやインターネット、各種メディアの活用など周知に努めながら、引き続き、関係機関と連携し、より効果的な事業の推進を目指す。</p> <p>一方、対外的にも千葉市をPRしていくことが重要であり、これまで築いてきたネットワークを活用した情報発信(ニューズレター)や海外から入手した情報の提供についても検討し、市民が国際化を実感できる取組みを推進したい。</p> <p>国際経済交流については、日本貿易振興機構(ジェトロ)や国等関係機関との情報交換・連携をさらに強化するだけでなく、より多くの個別企業とのコミュニケーションを深め、市内企業の需要掘り起しを強化していく必要がある。</p>

## 指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	外国人市民の生活支援の推進	生活支援	—	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	外国人市民の自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充	達成	0
2	姉妹友好都市との交流促進	姉妹・友好都市交流	2市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市、ケソン市、モントルー市、アスンシオン市	達成	0
3	姉妹友好都市との交流促進	青少年交流	3市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	達成	0
4	国際会議開催への助成	助成	—	3件	3件	3件	達成	1,961
5	国際経済交流の推進	企業商談会	—	1回/年	1回/年	0回/年	未達成	795
6	国際経済交流の推進	海外進出企業向けセミナー	—	2回/年	2回/年	0回	未達成	
7	国際経済交流の推進	インキュベート施設への入居支援	—	1社	1社	1社	達成	
8	雇用対策の推進	若年者・留学生向け合同企業説明会	—	1回/年	1回/年	1回/年	達成	2,993

## その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市国際交流協会運営補助金	日本語学習支援	10,784人	42,500人	15,000人	11,235人	未達成	217500
2	千葉市国際交流協会運営補助金	外国人相談	1,555件	5,450件	2,000件	1,393件	未達成	0
3	外国人留学生学習奨励助成補助金	留学生への学習奨励金の支給	1件(4人)	1件(4人)	1件(4人)	1件(4人)	達成	840
4	外国人市民懇談会	外国人市民の参加者数	37人	120人	40人	20人	未達成	36
5	外国人市民向け情報誌製作	外国語版生活ガイドブックの製作	640部	600部	100部	350部	達成	0

# 政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	5-1 都市の魅力を高める
施策	5-1-2 都市の国際性の向上

指標NO	149
------	-----

指標名	国際会議開催件数	単位	件/年
-----	----------	----	-----

指標の説明	市内で開催されたJNTO基準(主催者が国際機関・国際団体又は国家機関・国内団体で、参加者総数50名以上、参加国が日本を含め3カ国以上、会期1日以上)の国際会議の件数	担当局(区)	経済農政局
-------	--	--------	-------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	50	60	70	△
現状値	22	30	—	—	

目標設定の考え方	会議主催者への財政的支援や本市の立地の利便性のPR等を通じ、早期に東日本大震災前の水準を回復し、平成33年度末には過去最高の実績を目指す。
----------	---

【達成状況の分析】  
 H27中間評価については目標値を下回ってしまった。原因としては、近年、国際会議の誘致競争は厳しさを増しており、会議開催助成制度や支援制度の充実だけでなく、都市の魅力を効果的にブランディング出来ている都市が誘致活動上有利であったと考えられる。今後は、本市のブランディングを構築し、主催者やステークホルダーに対し国際会議開催のメリットなどの更なる情報発信が必要になってきている。

【課題及び今後の取組みの方向性】  
 本市のブランディング構築及び国際会議開催のメリットなどの情報発信については、グローバルMICE強化都市への国からの支援を活用し、ターゲットマーケットの絞り込み、海外の展示会への積極的な参加や、海外情報誌への掲載などに取り組んでいく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	国際会議開催への助成	助成	—	3件	3件	3件	達成	1,961

### その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	-------------	--------	--------	----	-----

# 政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	5-1 都市の魅力を高める
施策	5-1-2 都市の国際性の向上

指標NO	150
------	-----

指標名	外国人留学生数	単位	人
-----	---------	----	---

指標の説明	市内大学に在籍する本市在住の留学生数	担当局(区)	総務局
-------	--------------------	--------	-----

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	1,120	1,270	1470	×
現状値	990	894	—	—	

目標設定の考え方	市内大学の留学生の推移や将来の留学生への就職活動支援などを勘案し、目標値を設定した。
----------	--

**【達成状況の分析】**  
 国内における平成23年度の大学・短大等における留学生数は110,993人、平成26年度は107,761人となっており、約3%の減となっている。(独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)ホームページより)  
 指標の留学生数は、約1割の減となっており、減少率は国内と比してさらに高い。  
 市内大学に在籍している留学生数の傾向を見ると、この3年間で、中国からの留学生数が約3割、韓国・北朝鮮からの留学生数が約2割減少している。もともと、本市在学の留学生数に占める割合が多かった2か国からの留学生が減ったことが、大きく影響したと考えられる。  
 また、東日本大震災や領有権をめぐる報道等もその一因と推察される。

**【課題及び今後の取組みの方向性】**  
 本市在住の留学生を増やすためには、外国人住民をめぐる環境が総合的に向上する必要があるため、引き続き、外国人留学生交流事業や生活相談事業などを着実に推進するとともに、市内の大学や関係機関と連携し、千葉市の魅力や、外国人にとって住みやすいまちであることについて積極的なPRを図る。

## 指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	外国人市民の生活支援の推進	生活支援	—	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	外国人市民の自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充	達成	0
2	雇用対策の推進	若年者・留学生向け合同企業説明会	—	1回/年	1回/年	1回/年	達成	2,993

## その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	千葉市国際交流協会運営補助金	日本語学習支援	10,784人	42,500人	15,000人	11,235人	未達成	217,500
2	千葉市国際交流協会運営補助金	外国人相談	1,555件	5,450件	2,000件	1,393件	未達成	0
3	外国人留学生学習奨励助成補助金	留学生への学習奨励金の支給	1件(4人)	1件(4人)	1件(4人)	1件(4人)	達成	840

# 政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	5-1 都市の魅力を高める
施策	5-1-3 観光の振興と魅力の創出・発信

指標NO	151
------	-----

指標名	市内には家族や友人と行きたい施設やイベントがある	単位	%
-----	--------------------------	----	---

担当局(区)	経済農政局
--------	-------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	39.0	42.0	45.0	×
現状値	36.7	36.4	—	—	

目標設定の考え方	本市の魅力を引き続き積極的に発信するとともに、市内各施設の活性化を推進し、値の向上を図る。
----------	---

**【達成状況の分析】**  
 計画事業及び、その他事業については、17事業中13事業が達成となっており、概ね目標を達成しているが、成果指標については今回H23末の現状値から若干下回ってしまった。要因としては、H23年度と比較して、新たに目玉となる施設が増えたわけではなく、また千葉市中心市街地街づくり協議会が支援するイベント数の減少や、遊園地の廃止により市動物公園の入場者数減少などが影響したと想定される。

**【課題及び今後の取組みの方向性】**  
 「中心市街地活性化の推進」としてアート活動やイベントについて、支援の主体である「千葉市中心市街地まちづくり協議会」の方針に基づいて本市は支援していく。また、千葉ポートタワーの集客については、新たにできる棧橋やその周辺にできる集客施設と連携し、入館料に寄与するイベントを開催することで、来場者数の増加を図る。千葉市動物公園については、リスタート構想に基づき、ライオンを中心としたアフリカ平原ゾーンや、乗馬広場の整備を進めることにより、来園者数の増加を図り、指標の向上に努める。

## 指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船の運航	9日間(23年度事業量)	6日間/年	6日間/年	7日間/年	達成	703,949
2	千葉中央港地区まちづくりの推進	案内板の整備	—	5基	5基	5基	達成	
3	サイクルツーリズムの推進	市内コースマップ	—	作成	作成	作成	達成	
4	サイクルツーリズムの推進	PR活動	—	協力店の選定・PR	協力店の選定・PR	作成 協力店の選定・PR	達成	810
5	科学都市戦略の推進	科学フェスタ事業数	173件/年	27件/年増	200件/年	364事業/年	達成	0
6	中心市街地活性化の推進	アート活動・イベントの開催日数	31日/年	9日/年増	40日/年	開催日数 34日/年	未達成	0
7	幕張新都心魅力向上基礎調査	基礎調査	調査	モデル事業	完了	完了	達成	4,988
8	幕張新都心拡大地区の整備促進	民間商業施設の整備促進	基盤整備	基盤整備 民間商業施設の建設・開業	民間商業施設開業	民間商業施設開業	達成	0
9	JR千葉駅建替への促進	JR・モノレール駅連絡通路	協議	実施設計、工事	工事	工事	未達成	80,224

## その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ホームタウン推進事業	転入者親戚招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカー教室	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312
2	花火大会開催	幕張ビーチ花火フェスタ(来場者数)	—	30万人/年	30万人	30万人	達成	48,000
3	千葉ポートタワー管理運営	管理運営(入場者数)	114,000人	84,000人増	198,000人	129,492人	未達成	210,000
4	千葉市観光ガイド作成	千葉市観光ガイド	作成	内容見直し、作成	作成	・多言語標記(4言語) ・24,000部/年発行	達成	1,479
5	観光情報センター運営	運営	2か所	2か所	2か所	2か所	達成	57,964
6	千葉市海外広報用ビデオ	ビデオの制作及び活用	—	制作、活用	活用	活用	達成	2,999
7	中心市街地活性化対策事業	中心市街地活性化事業補助、中央公園仮設ステージ及び関連設備設置委託、千葉都心イルミネーション負担金	実施	実施	実施	実施	達成	37,039
8	動物公園管理運営	管理運営(入園者数)	613,400人	平成23年度実績を3年間で2割増する	736,000人	575,215人	未達成	3,143,463

# 政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	5-1 都市の魅力を高める
施策	5-1-3 観光の振興と魅力の創出・発信

指標NO	152
------	-----

指標名	入込観光客数	単位	千人
-----	--------	----	----

指標の説明	市内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数	担当局(区)	経済農政局
-------	-------------------------	--------	-------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	25,000	26,000	27,000	△
現状値	19,754	22,537	—	—	

目標設定の考え方	本市の魅力の発信や観光施策の取組みを推進することとし、目標値を設定した。
----------	--------------------------------------

【達成状況の分析】  
 前年から944千人減少し、H27中間目標値には届かなかった。主な要因としては、幕張メッセでのイベント開催数が減ったことによる645千人減と、その影響を受けた三井アウトレットパーク幕張の237千人減が影響している。また昨年度は、天候不良により、美浜区民フェスティバル、若葉区民まつり、千葉国際クロスカントリー大会等のイベント中止も起因している。

【課題及び今後の取組みの方向性】  
 観光都市としての本市の魅力向上を図るため、資源の育成、旅行商品化、メディアを活用した情報発信により、集客を促す。また、夏の幕張ビーチ花火フェスタや秋の大漁まつりなどのにぎわいづくりを行い、観光客の増加を目指す。さらに、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により訪日観光客の増加が見込まれる中、官民一体となったおもてなし体制を整えることにより外国人観光客の取り込みを図る。加えて、継続的に幕張メッセにて国際会議の誘致を行なっていくだけでなく、公益財団法人日本サッカー協会の施設開設など、幕張エリアの注目度を向上させ、指標の向上に努める。

## 指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船の運航	9日間(23年度事業量)	6日間/年	6日間/年	7日間/年	達成	703,949
2	千葉中央港地区まちづくりの推進	案内板の整備	—	5基	5基	5基	達成	
3	サイクルツーリズムの推進	市内コースマップ	—	作成	作成	作成	達成	810
4	サイクルツーリズムの推進	PR活動	—	協力店の選定・PR	協力店の選定・PR	作成 協力店の選定・PR	達成	810

## その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	ホームタウン推進事業	転入者観戦招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカー教室	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312
2	花火大会開催	幕張ビーチ花火フェスタ(来場者数)	—	30万人/年	30万人	30万人	達成	48,000
3	千葉ポートタワー管理運営	管理運営(入場者数)	114,000人	84,000人増	198,000人	129,492人	未達成	210,000
4	千葉市観光ガイド作成	千葉市観光ガイド	作成	内容見直し、作成	作成	・多言語標記(4言語) ・24,000部/年発行	達成	1,479
5	観光情報センター運営	運営	2か所	2か所	2か所	2か所	達成	57,964
6	千葉市海外広報用ビデオ	ビデオの制作及び活用	—	制作、活用	活用	活用	達成	2,999
7	中心市街地活性化対策事業	中心市街地活性化事業補助、中央公園仮設ステージ及び関連設備設置委託、千葉都心イルミネーション負担金	実施	実施	実施	実施	達成	37,039
8	動物公園管理運営	管理運営(入園者数)	613,400人	平成23年度実績を3年間で2割増する	736,000人	575,215人	未達成	3,143,463